

2025年度末までに、現在稼働中の伊勢原清掃工場焼却施設の稼働停止が予定されており、その後は、はだのクリーンセンター1施設での焼却体制に移行します。ごみ処理基本計画の中間目標年度である2021年度時点で、ごみの減量が計画どおり進んでいない場合、ごみ排出量に応じた負担の公平性と排出抑制の観点から、家庭ごみの有料化も含めて検討する予定です。

1. ごみの減量目標

▶ 現在の可燃ごみ排出量

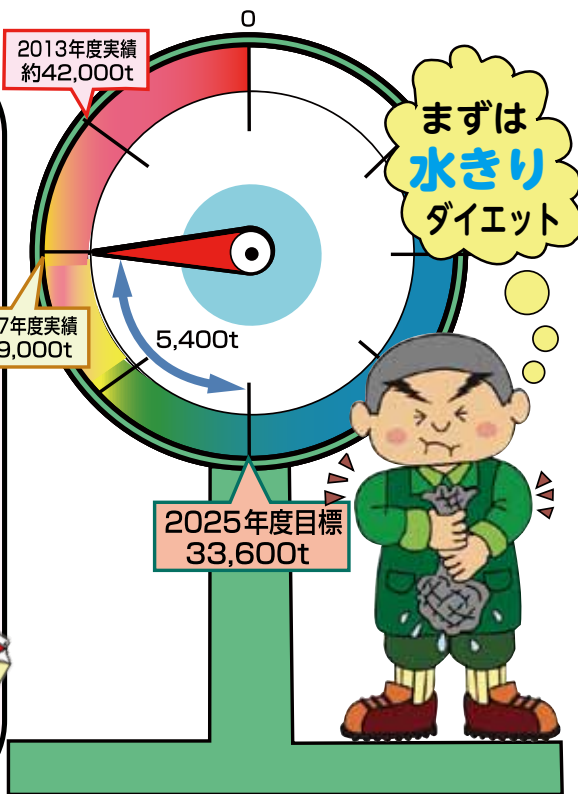
年間 **約 39,000t**

1人1日当たり **約 640g**

▶ 2025年度末までの減量目標

年間 **約 5,400t**

1人1日当たり **約 70g**
(牛乳パック 2 個分)



2. ごみと資源の歳出・歳入

- ◆年間ごみ処理経費 (歳出) (2017 年度実績)
 - 合計 約18億7,300万円
 - (1人当たり) 約11,300円
- ◆資源分別による歳入 (2017 年度実績)
 - 合計 約9,120万円

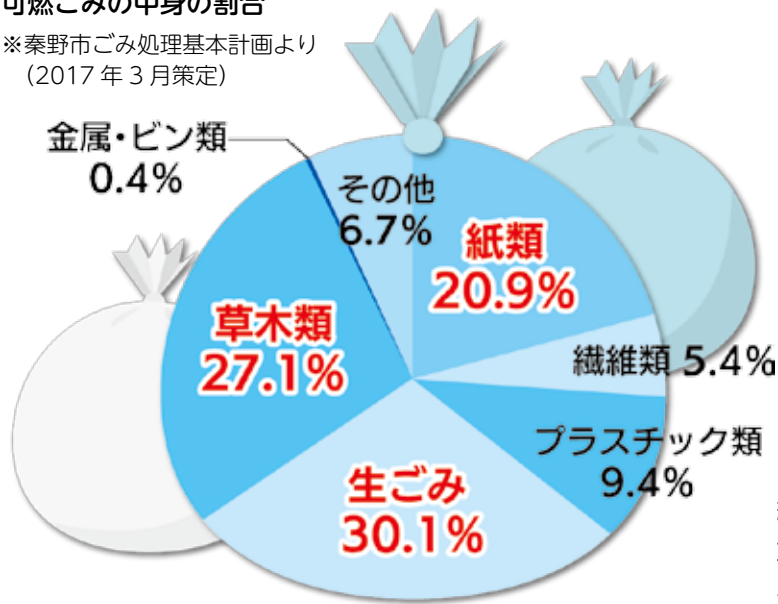


可燃ごみを 5,400t 減量
すると、約 2 億 1,600 万円の
経費が削減できます。
※経費=処分費 + 収集運搬経費

3. 可燃ごみ減量のカギ

可燃ごみの中身の割合

※秦野市ごみ処理基本計画より
(2017 年 3 月策定)



分別の徹底や
生ごみの資源化で
可燃ごみを
減らそう!



紙類 (古紙類) の分別 → 6 ページ参照
草木類の分別 → 11 ページ参照
生ごみの資源化 → 13 ページ参照